



vol.16

＝神戸市立平野中学校＝デイサービスながさか 体験訪問＝

平成 30 年 10 月 5 日金曜日、神戸市立平野中学校 2 年生が福祉学習として、西区内の福祉施設をグループに分かれて訪れました。特別養護老人ホーム永栄園では同校生徒 3 名が「デイサービスながさか」に参加しました。生徒 3 名は最初の紹介では緊張した面持ちでしたが、体操の時には補助役として器具の配布などのお手伝いをしました。また、午後のレクリエーションに備えて色紙を折って組玉を作るなど、ゲームの準備をしました。



＝神戸市立井吹東小学校＝さざんか療護園見学＝

平成 30 年 10 月 10 日水曜日、神戸市立井吹東小学校 4 年生と神戸学院大学経済学部中村ゼミの学生 3 名が障害者支援施設「神戸市立さざんか療護園」を見学しました。大学生は「支えあうマインドを小学生から」のテーマで同校児童と介護の学習に取り組んでいます。4 年生は総合学習で介護という支え合う仕組みを学ぶ計画です。この度、同療護園で学級ごとに分かれて福祉施設の学習をしました。



＝「支え合うマインドを小学生から」、介護に関する授業＝

平成 30 年 11 月 21 日水曜日、神戸市立井吹東小学校 4 年生と神戸学院大学経済学部中村ゼミの学生が「長寿化と人生百年時代」をテーマにディスカッションをしました。

長寿化に関して「1945 年から平均寿命が年々延び 2018 年には平均年齢が約 85 歳になった。30 年後には平均年齢がいくらになっているか。」の質問に、児童から「100 歳」と回答があり、関心の高さに驚きました。総務省の試算では 2050 年では約 107 歳になるそうです。その後、大介護時代に関して、「血縁化」、「多様化」、「長期化」、「多重化」、「男性の介護離職の増加」について説明がありました。



続いて、大阪の老人介護施設で介護士をされている井上 晃先生のお話があり、「高齢化社会について」「覚えている記憶と覚えられない記憶」「認知症介護現場の実態」などについて Q & A を交えながらお話がありました。児童のなかには 70 歳から 80 歳の祖父、祖母との同居も多く、これからの介護について有意義な授業となりました。



